

# 「一般向け専門用語」抽出の試み

## －医療用語を例に－

金 愛蘭 (きむ えらん<sup>†</sup> 国立国語研究所・特別奨励研究員)  
桐生 りか (きりゅう りか 国立国語研究所・研究補佐員)  
近藤 明日子 (こんどう あすこ 国立国語研究所・特別奨励研究員)  
田中 牧郎 (たなか まきろう 国立国語研究所・グループ長)

### 1. 目的と意義

「専門用語」には、「専門分野の概念や事物を表す」という語彙的な特徴があり、それに伴って、「基本的には、その分野の専門家が使う（知っている）もので、一般人は使わない（知らない）」という位相的な特徴がある。したがって、専門用語の多くは、この、一般人にとってのなじみの薄さとわかりにくさから、医療など、専門家と一般人とのコミュニケーションが不可欠の分野では、意思疎通を阻害する大きな要因となり得る。

しかし、だからこそ、そうした分野では、専門家が一般人向けに、一般人に理解されることを目指して、わかりやすい用語や表現を工夫しているものと予想される。そのような用語は、「専門概念を表し、専門家が使う」ものではあっても、一般人を受け手（聞き手・読み手）とする点で、本来の「専門用語」の規定には収まりにくいものであり、従来その存在があまり注目されてこなかったものである。本発表では、このような、「専門家がもつばら一般人に向けて使う専門用語」を「一般向け専門用語」と呼び、医療用語を例に、その特徴および抽出法について検討する。

一般向け専門用語は、一般人にもわかりやすい専門用語のモデルとして、難解な専門用語を改善するための手がかりとなることが予想され、その抽出法や特徴を検討することには大きな意義がある。また、一般向け専門用語は、専門用語自身の内的な特徴ではなく、専門家が一般人に向けて使うという使用上の特徴によって規定されるから、その特定のためには、専門家による専門用語使用の実例を数多く調査する必要がある。こうした観点からの専門用語の大量使用調査は、従来あまりなされておらず、本発表は、その点においても独自性をもつものである。

### 2. 一般向け専門用語の抽出法

#### 2.1 基本的な考え方

「一般向け専門用語」とは、もつばら（専門家向けではなく）一般人に対して用いられる専門用語であるから、もし、ある用語が一般向け専門用語であるならば、それは、文章・談話を一般人向けのものとして専門家向けのものに分けた場合、より前者に偏って使われるはずである。したがって、一般向け専門用語をとりだすためには、対象とする専門分野とその用語を定めた上で、その分野の文章・談話を一般人向けコーパスと専門家向けコーパ

---

<sup>†</sup> 〒190-8561 立川市緑町 10-2 国立国語研究所研究開発部門 kim\_eran@kokken.go.jp

スとに分けて用意し、個々の用語について、この二つのコーパスにおける使用上の偏り具合を数値化し、一定の基準のもとに、一般人向けコーパスに偏って使われている用語を「一般人向け専門用語」とする、という方法をとればよい（同時に、専門家向けコーパスに偏って使われている用語は「専門家向け専門用語」ということになる）。以下、本発表で対象とする医療用語について、今回、我々がとった方法・手順を示す。

## 2.2 コーパスの作成

医療分野で書かれた文章を資料として、以下のようなコーパスを独自に作成した。語数は、いずれも（後述の）短単位での延べ語数である。

### A. 一般人向け（一般人を読者とする）コーパス（約 880 万語）

○医療雑誌：2006年9月から2007年6月までの発行分、13誌、約360万語

○新聞の医療記事：全国紙1種（「読売オンライン」の「医療・介護」、2006年1月～2007年11月までのウェブ公開分、約260万語

○ウェブ：製薬会社が提供するウェブ上の医療情報60社分、約250万語

### B. 専門家向け（専門家を読者とする）コーパス（約 1,010 万語）

○医療雑誌：2006年9月から2007年6月までの発行分、20誌、約1,010万語

医療雑誌は、『雑誌新聞総かたろぐ』（メディアリサーチセンター）で、「厚生・医療」の大分類に掲載されている雑誌から、発行部数が10,000部以上の月刊誌をリストアップし、小分類（「内科」「リハビリテーション」「医療管理」など）のバランスに配慮して、一般人向けと専門家向け合わせて、33誌を対象にした。読者に一般人・専門家のどちらが想定されるかは、同誌の「内容」紹介コーナーがあげる読者層を基準に決定した。

また、一般人向けのコーパスには、医療雑誌のほか、新聞の医療記事と、製薬会社提供の医療情報も含めた。前者は、「読売オンライン」（読売新聞社）の「医療・介護」の記事、後者は、日本薬剤師会のサイトのリンク集に挙げられた製薬会社のうち60社がウェブ上で提供する患者向け情報である。後者には、医薬品に関する情報にとどまらず、医療にかかわる多様な情報が分かりやすくまとめられている。

## 2.3 コーパスの語彙調査

次に、作成した一般人向けコーパスと専門家向けコーパスについて語彙調査を行い、それぞれで用いられているすべての語について、その使用頻度を集計した。具体的には、はじめに、形態素解析器「茶筌」（解析辞書には、Unidicを用いた。これは、国立国語研究所で設計された「短単位」に基づき、一貫した規則にしたがって齊一に単位切りがされるものである。Ver.1.3.6を使用。<http://www.tokuteicorpus.jp/dist/>）によって「短単位」に分割し、次いで、それらを、その品詞情報を手がかりに、例えば、【睡眠/時/無/呼吸/症候/群⇒睡眠時無呼吸症候群】のように、複合名詞に相当する語にまとめなおした。医療分野の用語は長い複合語が多いため、短単位の解析結果をそのまま利用することは適当でないからである。こうして作成した語彙表の異なり語数は、一般人向け・専門家向け合わせて、約719,000語である。

## 2.4 医療用語の範囲

次に、上で得た約719,000語から、医療の専門用語（医療用語）をとりだした。専門用語か否かの判断は、便宜的に、専門用語集に立項されているか否かに依った。専門用語集には、収録語彙が100語以上で、医療の広い分野を扱い、内容が良質なもの、書籍版7種・ウェブ版22種を用いた。その結果、異なりで約17,000語を「医療用語」とした。

## 2.5 偏りの数値化

最後に、上の約 17,000 の医療用語について、一般人向けコーパスと専門家向けコーパスにおける使用頻度をもとに、どちらに偏って使われているかを数値化し、一定の基準を定めた上で、一般向け医療用語と専門家向け医療用語とをとりだした。偏りの数値化には、「対数尤度比」(log-likelihood ratio : LLR) を用いた。LLR とは、コーパス言語学などで特徴語を取り出すために用いられる指標であり、以下のような式で求められる。

$$LLR=2(\text{alna}+\text{blnb}+\text{clnc}+\text{dln d}-(\text{a}+\text{b})\ln(\text{a}+\text{b})-(\text{a}+\text{c})\ln(\text{a}+\text{c})-(\text{b}+\text{d})\ln(\text{b}+\text{d})-(\text{c}+\text{d})\ln(\text{c}+\text{d})+(\text{a}+\text{b}+\text{c}+\text{d})\ln(\text{a}+\text{b}+\text{c}+\text{d}))$$

a : Aでの単語 W の頻度    b : Bでの単語 W の頻度

c : Aの延べ語数-a    d : Bの延べ語数-b    ※ln(x)=x の自然対数

ただし、単語 W のAでの使用率がBでの使用率より低い場合、×(-1)の補正を行う。

LLR は、どちらかのコーパスに偏って使われる度合いが大きいほど、その数値(絶対値)が大きくなる。今回は、LLR が+10 以上のもの 1,186 語を一般向け医療用語、-10 以下のもの 1,149 語を専門家向け医療用語とした。それぞれの一部を、末尾の<付表>に示す。

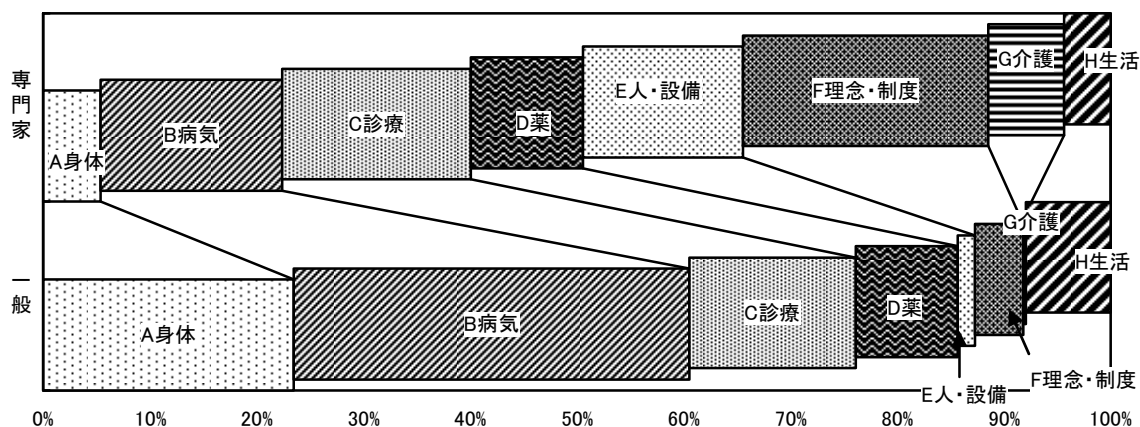
### 3. 一般向け医療用語の特徴

以上のようにして取り出した一般向け医療用語の特徴を、いくつかの観点から、専門家向け医療用語と比較することによって、探してみる。以下、その「意味領域」、「語種」、「基本語彙との重なり」の観点から考察する。

#### 3.1 意味領域

意味領域は、大きく、「身体」「病気」「診療」「薬」「人・設備」「理念・制度」「介護」「生活」の8種<sup>1)</sup>に分けた。図1からわかるように、一般向け医療用語の意味領域(分野)と、専門家向け医療用語のそれとは大きく異なる。一般向け医療用語は、「身体」「病気」「診療」「薬」など、一般人にとって身近な領域の用語に集中し、「人・設備」「理念・制度」「介護」など、(専門家がかわかる)医療行政に関する用語は少ない。

<図1 意味領域>

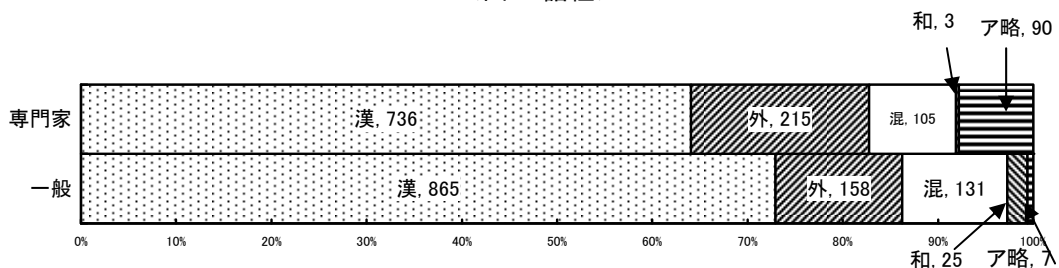


<sup>1)</sup> この意味領域の分類は、国立国語研究所で「病院の言葉をわかりやすくする提案」(仮称)を行うために設けた、初期の枠組みである。

### 3.2 語種

<図2>からわかるように、一般向け医療用語には、専門家向け医療用語に比べて、漢語・混種語・和語が多く、外来語・アルファベット略語が少ない。和語が多く、外来語やアルファベット略語が少ないということは、一般向け医療用語の方が、専門家向け医療用語よりも、一般人にわかりやすい用語であることが予想される。

<図2 語種>



### 3.3 基本語彙との重なり

一般向け医療用語・専門家向け医療用語それぞれが、『新教育基本語彙』（阪本 1984）にあるか、あるとすればどのランクにあるかを調べた。その結果が、<表1>である。全体では、一般向け医療用語の方が、専門家向け医療用語の2倍以上、基本語彙と重なっている。また、基本度の高いランクほど、一般向け医療用語の方が多いこともわかる。

<表1> 『新教育基本語彙』との重なり

| ランク        | 一般向け  | 専門家向け  |
|------------|---|--|
| A1 (小学低学年) | ガス、シーツ、せき、ポンプ、胃、運動、規則、しゃっくり、骨、心臓、注射、鉄、病院、風邪 (14語)   | 問題 (1語)  |
| A2 (小学低学年) | サイン、フィルム、マスク、汗疹、昼寝、虫歯、日焼け、風邪薬 (7語)  | 校医、手洗い (2語)  |
| B1 (小学高学年) | ビタミン、亜鉛、遺伝、栄養、改善、器官、脚気、吸収、筋肉、近視、血液、健康、検査、呼吸、鼓膜、殺菌、死亡、脂肪、治療、手術、出血、循環、消化、神経、診断、進行、睡眠、静脈、脊髄、体温、体重、退院、蛋白質、中止、頭痛、動脈、動悸、入院、脳、膿、破裂、肺、皮膚、便、麻疹、疔 (46語) | パーセント、パス、汚染、患者、看護、基準、経験、計画、決定、指導、歯科、人格、調査、法律、目的、薬局 (16語)           |
| B2 (小学高学年) | アルコール、アンモニア、カルシウム、マグネシウム、マッサージ、レントゲン検査、安静、移植、胃腸、下痢、関節、再生、細胞、酸化、視力、十二指腸、夜、腎臓、中毒、肺炎、発熱、偏食、肋骨、瘻管 (24語)   | PR、アスピリン、スライド、トータル、除外、保健、用法 (7語)                                   |
| B3 (小学高学年) | ガード、悪性、下剤、眼科、切断、息切れ、痛風 (7語)   | ターミナル (1語)   |
| C1 (中学)    | カロリー、胃液、萎縮、化膿、感染、肝臓、癌、気管、気管支、緊張、血圧、視野、軟骨、難病、尿、妊娠、発作、肥満、貧血、副作用、便秘、免疫、面皰、輸血、老眼  | プラン、リーダー、ルート、往診、監査、虐待、急変、共感、事例、失神、受容、処方箋、進展、調剤、適応、適宜、悲嘆、評価、法令、夜勤、用 |

|        |   |  |
|--------|---|--|
|        | (25 語)  | 語 (21 語)   |
| C2(中学) | バイパス、バランス、ホルモン、遠視、外用薬、眼球、急性、凝固、湿疹、充血、症状、証、先天的、大脳、内服薬、年金、肺活量、慢性、網膜、乱視、肛門、膀胱 (22 語)       | ジレンマ、依存、局面、専任、総括、対照、聴診器、転倒、転落、文脈、臨床 (11 語)                           |
| C3(中学) | インフルエンザ、炎症、温存、喫煙、骨髄、再燃、時効、痔、主治医、就寝、新陳代謝、新薬、中耳炎、鎮痛剤、摘出、発汗、肥大、余命、冷え性、喘息、膀胱 (21 語)         | エラー、コミュニケーション、スケール、スタッフ、レベル、外来、感度、虚脱、屈曲、傾聴、所見、不穩、法人、薬剤師、予後、抑制 (16 語) |
| C4(中学) | エキス、コントロール、デザイン、メス、胃ガン、胃癌、延命、塩素、解熱剤、紫外線、斜視、水虫、直腸、点滴、糖尿病、頭蓋骨、毒素、難聴、捻挫、脳出血、分泌、誘因、腱 (24 語) | レビュー、査定、洗浄、遷延、漸減、漸増、咀嚼 (7 語)   |
| 計      | 190 語   | 82 語   |

### 3.4 同義語（類義語）

<表 2>は、同じ意味領域（さらに下位分類を試したもの）の中で、同義・類義と考えられる、一般向け医療用語と専門家向け医療用語の対（一部）である。

<表 2> 同じ意味領域の中で対となる語

| 分類   | 一般向け    | 専門家向け |
|------|---------|-------|
| A 身体 | 嘔む      | 咀嚼    |
|      | たん（痰）   | 喀痰    |
|      | 伸ばす     | 伸展    |
|      | 飲み込む    | 嚥下    |
|      | のど（喉）   | 咽頭    |
|      | 仰向け     | 仰臥位   |
|      | かかと     | 踵部    |
| B 病気 | 痛み      | 疼痛    |
|      | せき（咳）   | 咳嗽    |
|      | 手のひら（掌） | 手掌    |
|      | タコ      | 胼胝    |
|      | 長引く     | 遷延    |
|      | 腫れる     | 腫脹    |
|      | 腫れ      | 腫脹    |
|      | むくみ     | 浮腫    |
|      | 患う      | 罹患    |
|      | 悪化      | 増悪    |
| 床ずれ  | 褥瘡      |       |

| 分類      | 一般向け     | 専門家向け |
|---------|----------|-------|
| B 病気    | ぜいぜい     | 喘鳴    |
|         | ヒューヒュー   | 喘鳴    |
|         | 吐き気      | 嘔気    |
|         | 傷        | 創傷    |
|         | (病気に)掛かる | 罹患    |
|         | にきび      | ざ瘡    |
|         | イボ       | 疣贅    |
| 虫歯      | 齲齒       |       |
| C 診療    | 傷付ける     | 侵襲    |
|         | 刺す       | 穿刺    |
| D 薬     | 偽薬       | プラセボ  |
|         | 大衆薬      | OTC 薬 |
|         | 市販薬      | OTC 薬 |
| F 理念・制度 | 引き起こす    | 惹起    |
|         | 証拠       | エビデンス |
|         | 医学的根拠    | エビデンス |
| G 介護    | 拭く       | 清拭    |
| H 生活    | 転ぶ       | 転倒    |

一般向け医療用語のほとんどが一般人になじみのある、わかりやすい用語であるのに対して、専門家向け医療用語はそうではなく、予想どおりの結果といえる。また、専門家向け医療用語には名詞が多いのに対して、一般向け医療用語には、名詞以外に動詞・形容詞・副詞(オノマトペ)も目立つ。これらは、句(連語)の形式の要素などとして、一般人向けのわかりやすい表現の中で使われていると考えられる。

#### 4. まとめと今後の課題

本発表では、専門用語の中に、もっぱら一般人向けに使われる「一般向け専門用語」と呼ぶべき用語群があると想定し、医療用語を例に、その抽出法および特徴について検討した。抽出法については、一般人向けコーパスと専門家向けコーパスとを用意し、各語の使用上の偏りを対数尤度比（LLR）によって数値化して、一般向け医療用語を選定する方法を提案した。その結果得られた用語をいくつかの観点から分析したところ、一般向け医療用語は、専門家向け医療用語よりも、一般人にとって身近な領域の、わかりやすい用語であることが確認された。このことは、「一般向け医療用語」が、専門用語と一般語との「かけはし」的な存在であり、したがって、難解な専門概念をわかりやすく表現するためのひとつのモデルになることを支持するものであろう。

ただし、3.4で述べたように、一般向け医療用語には、句（連語）形式をとるものも少なくないので、単語レベルだけでなく、句（連語）レベルにまで考察の範囲を広げる必要がある。さらに、専門用語集に載っていない（専門用語とされてない）語の中にも、一般向け医療用語としてよいものが少なくないものと予想される。今後、これらを含めて、「一般向け専門用語」をより広範に抽出するための方法を確立していくことが必要になる。

**付記** 本稿は、国立国語研究所研究開発部門言語問題グループの研究課題「病院の言葉を分かりやすくする提案のための資料作成」、および文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「日本語コーパス」（領域代表：前川喜久雄）における計画研究（言語政策班）、「言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表の作成と活用」（代表：田中牧郎）の成果の一部である。なお、一般人向けコーパスと専門家向けコーパスの語彙頻度を比較して語彙を抽出する方法は、田中ほか（2008）でも述べた。本稿は、抽出の手続きまではこれを踏襲しているが、一般向けコーパスに偏る語彙を特定し、その性質の解明を目指す点で、新たな視点と知見を提供しようとするものである。

#### <文献>

1. 石井正彦（1991）「専門用語を抜き出す試み」『専門用語研究』3
2. 国立国語研究所（1981）『専門語の諸問題』国立国語研究所報告 68
3. 国立国語研究所（2001）（『教育基本語彙の基本的研究－教育基本語彙データベースの作成－』国立国語研究所報告 117
4. 田中牧郎・金愛蘭・桐生りか・近藤明日子（2008）「コーパスによる難解語・重要語の抽出－医療用語を例に－」第21回社会言語科学会予稿集

<付表>抽出された語のリスト（左：一般向け、右：専門家向け。LLR 値の上位 100 語）

| 順位 | 語   | LLR    | 順位 | 語    | LLR     |
|----|-----|--------|----|------|---------|
| 1  | 症状  | 4504.5 | 1  | 患者   | -3591.5 |
| 2  | 手術  | 4027.8 | 2  | 評価   | -1870.8 |
| 3  | 癌   | 4004.3 | 3  | 看護   | -1842.7 |
| 4  | 治療  | 3421.3 | 4  | 看護師  | -1435.0 |
| 5  | 筋肉  | 2726.0 | 5  | スタッフ | -1218.6 |
| 6  | 糖尿病 | 2375.2 | 6  | 診療所  | -1123.5 |
| 7  | 検査  | 2208.6 | 7  | ケア   | -1063.8 |

| 順位 | 語      | L L R  |
|----|--------|--------|
| 8  | 骨      | 2177.8 |
| 9  | 細胞     | 1830.4 |
| 10 | 胃      | 1735.6 |
| 11 | 脳      | 1494.1 |
| 12 | 血液     | 1398.3 |
| 13 | 治療法    | 1376.8 |
| 14 | ビタミン   | 1261.8 |
| 15 | 乳癌     | 1203.8 |
| 16 | 動脈硬化   | 1184.7 |
| 17 | 抗癌剤    | 1158.5 |
| 18 | インシュリン | 1101.6 |
| 19 | 運動     | 1062.0 |
| 20 | 再発     | 1056.8 |
| 21 | 分泌     | 1041.8 |
| 21 | 転移     | 1041.8 |
| 23 | 炎症     | 1035.4 |
| 24 | 関節     | 1024.5 |
| 25 | 血糖値    | 972.3  |
| 26 | 腎臓     | 938.9  |
| 27 | 皮膚     | 929.9  |
| 28 | ウイルス   | 901.3  |
| 29 | 進行     | 862.4  |
| 30 | 切除     | 853.8  |
| 31 | 癌細胞    | 832.8  |
| 32 | 神経     | 825.0  |
| 33 | 感染     | 824.6  |
| 34 | 移植     | 818.8  |
| 35 | 厚生年金   | 804.6  |
| 36 | 風邪     | 798.0  |
| 37 | ストレス   | 790.6  |
| 38 | 年金     | 733.8  |
| 39 | 前立腺    | 730.3  |
| 40 | 頭痛     | 724.9  |
| 41 | 網膜     | 713.0  |
| 42 | 女性ホルモン | 711.7  |
| 43 | 肝臓     | 685.1  |
| 44 | 心臓     | 677.0  |
| 45 | 蛋白質    | 658.8  |
| 46 | カルシウム  | 631.7  |
| 47 | 血圧     | 593.1  |
| 48 | 腫瘍     | 589.2  |
| 49 | 脂肪     | 575.9  |
| 50 | 副作用    | 557.5  |
| 51 | せき     | 553.3  |
| 52 | 尿      | 547.5  |
| 53 | ホルモン療法 | 535.5  |
| 54 | 視力     | 534.0  |
| 55 | 主治医    | 531.1  |

| 順位 | 語          | L L R   |
|----|------------|---------|
| 8  | 保健師        | -1011.5 |
| 9  | アセスメント     | -892.1  |
| 10 | 事例         | -862.4  |
| 11 | 薬剤師        | -806.7  |
| 12 | パーセント      | -703.5  |
| 13 | 健診         | -681.9  |
| 14 | 問題         | -668.3  |
| 15 | 保険者        | -656.8  |
| 16 | オン         | -654.8  |
| 17 | 地域包括支援センター | -606.4  |
| 18 | 薬局         | -606.0  |
| 19 | 電子カルテ      | -581.4  |
| 20 | ケアマネージャー   | -513.5  |
| 21 | 在宅医療       | -495.9  |
| 22 | 介護支援専門員    | -448.4  |
| 23 | 服薬指導       | -446.7  |
| 24 | 高齢者        | -432.7  |
| 25 | 日本医師会      | -424.1  |
| 26 | コミュニケーション  | -412.4  |
| 27 | ケアマネージメント  | -402.3  |
| 28 | 介護予防       | -383.4  |
| 29 | エビデンス      | -362.8  |
| 30 | 標準化        | -353.5  |
| 31 | アドボカシー     | -350.8  |
| 32 | 栄養士        | -344.1  |
| 33 | 臨床         | -342.7  |
| 34 | ガイドライン     | -341.6  |
| 35 | 療養病床       | -323.0  |
| 36 | 看護記録       | -322.6  |
| 37 | 特定保健指導     | -321.4  |
| 38 | 投与         | -294.3  |
| 39 | 後発医薬品      | -293.5  |
| 40 | 介護保険制度     | -290.4  |
| 41 | 薬剤         | -287.4  |
| 42 | 指導         | -278.3  |
| 43 | 介護保険       | -269.8  |
| 44 | 管理栄養士      | -264.7  |
| 45 | プロセス       | -260.1  |
| 46 | 調剤         | -259.2  |
| 47 | アプローチ      | -254.0  |
| 48 | 口腔ケア       | -253.4  |
| 49 | 行動変容       | -248.6  |
| 50 | 薬歴         | -248.0  |
| 51 | リスクマネージメント | -242.7  |
| 52 | カンファレンス    | -236.7  |
| 53 | カロリー       | -236.3  |
| 54 | 病態         | -233.5  |
| 55 | 産業医        | -231.7  |

| 順位  | 語         | L L R |
|-----|-----------|-------|
| 56  | ホルモン      | 526.5 |
| 57  | 卵巣        | 516.0 |
| 58  | バランス      | 515.5 |
| 59  | 高血圧       | 499.7 |
| 60  | 花粉症       | 498.2 |
| 61  | エストロゲン    | 491.5 |
| 62  | 妊娠        | 485.1 |
| 63  | コレステロール   | 463.0 |
| 64  | 食物繊維      | 457.2 |
| 65  | 血糖        | 443.1 |
| 66  | 肥満        | 440.9 |
| 67  | 注射        | 440.1 |
| 68  | 腰痛        | 437.6 |
| 69  | 肺         | 430.7 |
| 70  | 国民年金      | 427.7 |
| 71  | 便秘        | 419.7 |
| 72  | 合併症       | 413.1 |
| 73  | 消化        | 406.2 |
| 74  | 服用        | 404.8 |
| 75  | 紫外線       | 398.9 |
| 76  | 自律神経      | 377.6 |
| 77  | 摘出        | 376.2 |
| 78  | 体重        | 373.5 |
| 79  | アトピー性皮膚炎  | 371.3 |
| 80  | 膵臓        | 369.1 |
| 81  | 面皰（にきび）   | 368.0 |
| 82  | 代理出産      | 365.2 |
| 83  | 基礎年金      | 359.7 |
| 84  | 放射線治療     | 358.1 |
| 85  | ダイエット     | 355.5 |
| 86  | アルコール     | 351.9 |
| 87  | 肺癌        | 350.2 |
| 88  | 発作        | 347.9 |
| 89  | 老化        | 347.6 |
| 90  | 漢方薬       | 347.5 |
| 91  | 血糖コントロール  | 347.0 |
| 92  | 高脂血症      | 344.3 |
| 93  | 吸収        | 337.3 |
| 94  | 食事療法      | 334.0 |
| 95  | 免疫        | 333.0 |
| 96  | 中性脂肪      | 329.6 |
| 97  | 骨盤        | 323.5 |
| 98  | シェーグレン症候群 | 311.3 |
| 99  | 診断        | 306.4 |
| 100 | ヒアルロン酸    | 305.1 |

| 順位  | 語           | L L R  |
|-----|-------------|--------|
| 56  | スキル         | -226.2 |
| 56  | ケアプラン       | -226.2 |
| 58  | 医療区分        | -225.8 |
| 59  | 添付文書        | -223.0 |
| 60  | 創傷          | -222.8 |
| 61  | 看護必要度       | -221.1 |
| 62  | 保健          | -218.0 |
| 63  | コーチング       | -217.5 |
| 64  | モチベーション     | -216.8 |
| 65  | 国保          | -208.0 |
| 66  | A D L       | -206.8 |
| 67  | グループホーム     | -205.9 |
| 68  | レセプト        | -205.6 |
| 69  | 後発品         | -204.3 |
| 70  | 褥瘡          | -192.4 |
| 71  | 疑義照会        | -191.9 |
| 72  | 看護職員        | -188.4 |
| 73  | 輸液          | -185.3 |
| 74  | 禁忌          | -180.5 |
| 75  | 目的          | -179.3 |
| 76  | P E G       | -178.9 |
| 77  | G E         | -176.7 |
| 78  | 医療法人        | -167.9 |
| 79  | リスク         | -167.8 |
| 80  | モニタリング      | -167.3 |
| 81  | 在宅療養支援診療所   | -164.4 |
| 82  | 法人          | -163.6 |
| 83  | 訪問看護        | -162.7 |
| 84  | 社会福祉法人      | -162.2 |
| 85  | 有意差         | -160.5 |
| 86  | 計画          | -159.6 |
| 87  | シンポジウム      | -156.6 |
| 88  | アウトカム       | -156.3 |
| 89  | 開業医         | -155.5 |
| 90  | 身体活動        | -155.3 |
| 91  | I C U       | -155.1 |
| 92  | 後期高齢者       | -153.5 |
| 93  | 薬物          | -153.3 |
| 94  | 疼痛          | -152.9 |
| 95  | 日本看護協会      | -152.6 |
| 96  | 接遇          | -152.5 |
| 97  | 小規模多機能型居宅介護 | -152.4 |
| 98  | D P C       | -151.2 |
| 99  | リーダー        | -149.9 |
| 100 | 決定          | -148.9 |